



# 奇々怪々な「HPVワクチン」

「予防接種」とは「疾病しつぺいに対して  
免疫の効果を得させるため、疾病  
の予防に有効であることが確認さ  
れているワクチンを、人体に注射  
し、又は接種すること」(予防接

りません。飽く迄も予防効果。と  
は言え、「疫病の予防に有効であ  
ることが確認されている」のが大  
前提。「HPVワクチン」子宮頸  
がんワクチン」を巡って、日本  
のみならず地球規模で巻き起こる甲  
論乙駁かんごはくは、この点なのです。

性行為を介して感染する性感  
症ウイルスのヒトパピローマウイ  
ルス＝Human papillomavirus＝  
HPVは、エボラウイルスと同じ  
く動物感染実験が不可能。獲得免  
疫力が強く、免疫持続期間が長い  
「生ワクチン」の製造も不可能。

インフルエンザ、日本脳炎、麻疹、  
流行性耳下腺炎おたふくかぜを始めとする既存  
のワクチンとの決定的な違いです。

動物実験を経ずに認可され、巨  
大製薬企業グラクソ・スミスクラ  
イン＝GSK、メルク&カンパニ  
ー＝MSDが製造・販売するHP  
Vワクチン。前者のサーバリク

スは、遺伝子組み換え技術を用い  
て蛾がの細胞内でウイルスを増殖。  
後者のガーダシルも遺伝子組み換

え技術で酵母を培養。共に水酸化  
アルミニウム等の免疫賦活剤めんきょくかつかくざい＝ア  
シユバントを含有。重篤じゅうとくな副反応  
の原因か、と指摘される所以です。

豈あは図らんや、HPVワクチン接

種後の神経障害を特集した学術専  
門誌『神経内科』に拠れば、子宮  
頸がんの死亡リスクは0・3%。  
2%の大腸がん、1%の乳がんよ  
りも低率。生涯罹患りかんリスクも9%  
の乳がん、8%の大腸がん、6%  
の胃がん、5%の肺がん、2%の  
膵すいがんよりも低い1%です。

更に5年相対生存率も91%の乳  
がんに次いで高い73%。10年相対  
生存率も乳がん79%、子宮頸がん  
66%、大腸がん63%、肺がん31%、  
胃がん58%、膵がん5%の数値で  
す。乳がん同様に子宮頸がんも  
「早期発見・早期治療」が可能、  
と捉えるべきなのです。

女優の高橋マアリージュン嬢は  
近著で、HPVワクチンを接種し  
たにも拘らず5年9カ月後に受診  
した子宮頸がん検診で罹患が判明  
し、けれども手術に至らず根治し  
たと告白しました。

ヒト乳頭腫ウイルスとも呼ばれ  
るHPVは一昨年の段階で180  
種類以上が確認されています。他  
方で、日本で最初に認可されたG  
SKのサーバリックスはHPV16  
型・18型の2種類以外に効果は確  
認されていないと添付文書に明記  
されています。MSDのガーダシ

ルとしてHPV6型、11型、16型、  
18型の4種類に効果と記されてい  
ます。恐らく彼女は、その4種類  
以外のHPVに罹患したのです。

2013年3月28日、厚生労働  
省健康局長は国会で、HPVワク  
チン接種対象の日本人女性のHP  
V感染率は16型が0・5%、18型  
が0・2%、計0・7%と「告  
解」。更に性感症ウイルスのH  
PVは米国に於ける3年間の調査  
で自然排出90%、自然治癒90%、  
更に「適切な治療が行われた場合  
には治癒率は概ね100%と日本  
産婦人科腫瘍学会のガイドライン  
にも記載」と「援用」。

が、翌日にHPVワクチン定期  
接種化の予防接種法改正案が成立。  
副反応に苦しむ少女が相次いでい  
ます。欧米「先進国」では7〜8  
割台の子宮頸がん検診受診率が2  
割台に留まる日本。優先順位は明  
々白々。細胞診さいぼうしんとHPV-DNA  
検査の子宮頸がん検診を義務化す  
る方が、年間予算300億円のH  
PVワクチンよりも遙かに「有効」。  
なのに「意識高い系W」の面々  
は如何なる皮算用か、HPVワク  
チン接種勧奨を唱和。実に奇々  
怪々な「新車の公共事業」です。

★次号のHPVの発行口はHPVワクチン。